

活動業績の CPD 評価結果について

個別の取組みでも高い評価結果

一般財団法人 日本土壌協会

この度、CPD 審査委員会が 7 月 10 日に開催され、2019 年度業績分の「業績レポート」および「土壌医の会の活動業績」について審査いたしました。

今回、申請のあった「業績レポート」は下表のとおり、土づくりとエコ農業掲載分を含めて 27 件の申請があり、「土壌医の会の活動」については 5 つの会から申請がありました。

また、評価結果も下表のとおり、業績レポートについては平均でも 15 単位が付与されており、土壌医の会の活動業績についても活動に関わった正会員に対し、平均で 9 単位が付与されています。業績レポートで最も高い評価結果になった方は 50 単位でした。

業績レポートは、一般的な研修会等を受講した場合と比べて多くの CPD 単位を獲得できる研鑽メニューとなっています。個別の取組による小さな業績でも対象となりますので、積極的な申請をお待ちしております。

業績様式のダウンロードや申請手続きについては「単位申請コーナー」からお願い致します。

表．活動業績の CPD 評価結果

区 分		件数	付与単位数			備考（研鑽要綱の単位数の幅）
			最高	最低	平均	
業績	業績レポート	17	50	5	15	A：土壌診断の成果 [10～40 単位]
	土づくりとエコ農業 掲載（業績レポ扱い分）	10	25	12	19	B：地域・産地の取組 [10～60 単位] C：個別の取組 [5～30 単位]
小 計（ + ）		27				
土壌医の会の活動		5	15	6	9	3～15 単位 / 人（正会員 1 名あたり）
合 計		32				